

## コラム 35 : 【親子間の距離】

親子間の距離は、遠ければ良い、近いから悪いという問題ではないからこそ難しいです。

例えばこんなケースはどうでしょう？

何も言わずに外泊をしたことが何回かあった20歳を過ぎた子どもが、初めて4日以上連絡がつかなかった時のことです。父親は心配でたまらず、搜索願いを出そうとします。母親は、子どもの外泊はいつものことなので「もう少し様子を見ましょう」と言います。両親は大喧嘩の末、搜索願いを出しました。

結局、子どもは家に帰ってきたのですが、その時父親は何も聞かずに頬を叩きました。母親は何も聞かずに食事を作りました。父親は心配が過ぎて叩いてしまいましたが、子どもには父親の気持ちは汲み取れません。子どもは母親の作った食事を投げ捨ててしまいました。

状況によるかもしれませんが、子どもが一番望んでいたのは、感情的に迎え入れられたとしても「心配したよ、お帰り。あなたがしたことには、それなりの訳があるはず。理由を聞かせてほしい」という言葉だったのかもしれませんが。

距離が近い＝優しくする、世話を焼く

距離が遠い＝何も言わない、何も聞かない

という考え方だけではないと思います。

「子どもには子どもなりのわけがある」「子ども自身に時間が必要なら待つ」「子どものタイミングを大事にする」というような、子どもの立場（プライドも含め）を尊重しながら、親なりの考えと立場の元、行動することが必要な場面もあるのではないのでしょうか。